



2021年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年10月9日

上場会社名 シグマ光機株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7713 URL <http://www.sigma-koki.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 近藤 洋介
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 菊池 健夫 TEL 03-5638-8221
 四半期報告書提出予定日 2020年10月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年5月期第1四半期の連結業績（2020年6月1日～2020年8月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年5月期第1四半期	1,826	△15.7	119	△36.6	161	△22.3	117	△12.6
2020年5月期第1四半期	2,166	△3.7	189	△46.4	208	△48.1	134	△49.2

(注) 包括利益 2021年5月期第1四半期 176百万円 (243.5%) 2020年5月期第1四半期 51百万円 (△82.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年5月期第1四半期	16.59	—
2020年5月期第1四半期	18.98	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年5月期第1四半期	16,240	13,043	80.0	1,883.86
2020年5月期	16,152	13,009	80.2	1,828.98

(参考) 自己資本 2021年5月期第1四半期 12,988百万円 2020年5月期 12,953百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年5月期	—	20.00	—	20.00	40.00
2021年5月期	—	—	—	—	—
2021年5月期(予想)	—	20.00	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年5月期の連結業績予想（2020年6月1日～2021年5月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,920	△8.8	195	△51.0	240	△46.9	150	△49.3	21.17
通期	8,510	0.2	660	△7.3	765	△8.9	510	△14.4	72.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年5月期1Q	7,552,628株	2020年5月期	7,552,628株
② 期末自己株式数	2021年5月期1Q	470,332株	2020年5月期	470,332株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年5月期1Q	7,082,296株	2020年5月期1Q	7,082,324株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染症の流行が続き、景気が大幅に悪化いたしました。米国経済は、感染症の抑制に向けた経済活動の制限により個人消費や設備投資等が落ち込み、景気は大幅に減速いたしました。欧州経済は、景気減速から一部で持ち直しの兆しが見られ、中国経済も緩やかな回復基調で推移いたしました。なお、わが国経済は、景気の悪化は徐々に下げ止まりつつあるも、個人消費の持ち直しも限定的であり、企業収益の悪化に伴い設備投資も依然弱含みで推移するなど、先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社グループにおいては、大学・国立研究開発法人向け研究開発分野の需要は堅調に推移いたしました。民間企業向け研究開発分野及び産業分野は、世界経済の減速を背景に設備投資の調整局面が続き、需要は軟調に推移いたしました。国内・アジア地域を中心とした電子部品・半導体業界向けでは、一部においてレーザー加工機・検査装置向けの組込み用途の光学要素部品の需要は緩やかな回復基調で推移した反面、フラットパネルディスプレイ業界向けの光学システム製品の需要は軟調に推移いたしました。又、防衛業界向けの光学システム製品、及び通信業界向けの光学要素部品の需要は増加傾向で推移いたしました。一方、バイオ業界向けの光学要素部品、及び医療業界向けの光学システム製品の需要はそれぞれ軟調に推移いたしました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は18億2千6百万円（前年同期比15.7%減）、営業利益1億1千9百万円（前年同期比36.6%減）、経常利益1億6千1百万円（前年同期比22.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億1千7百万円（前年同期比12.6%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 要素部品事業

当事業においては、大学・国立研究開発法人向け研究開発分野の需要は堅調に推移いたしました。民間企業向け研究開発分野及び産業分野は、世界経済の減速を背景に設備投資の調整局面が続き、需要は軟調に推移いたしました。国内・アジア地域を中心とした電子部品・半導体業界向けでは、一部においてレーザー加工機・検査装置向けの光学素子・薄膜製品の需要が緩やかな回復基調で推移した反面、フラットパネルディスプレイ業界向けの光学要素部品の需要は弱含みで推移いたしました。又、通信業界向けの自動応用製品の需要が増加傾向で推移いたしました。一方、バイオ業界向けの自動応用製品は軟調に推移いたしました。米国地域では、バイオ業界、医療業界向けの光学基本機器製品の需要は軟調に推移いたしました。又、欧州地域では、大学・官公庁向け、産業分野向けともに光学要素部品の需要は弱含みで推移いたしました。

その結果、セグメント間の内部売上高を含む売上高は15億2千万円（前年同期比14.8%減）となり、営業利益は2億3千8百万円（前年同期比17.4%減）となりました。

② システム製品事業

当事業においては、民間企業向け研究開発分野及び産業分野は、世界経済の減速を背景に設備投資の調整局面が続き、需要は軟調に推移いたしました。国内・アジア地域では、フラットパネルディスプレイ業界向けのレーザー加工機・検査装置向けへの組込み用途のレンズユニット等の光学ユニット製品の需要は軟調に推移いたしました。又、防衛業界向けの光学ユニット製品の需要は堅調に推移しましたが、医療業界向けの光学ユニット製品の需要は軟調に推移いたしました。

その結果、セグメント間の内部売上高を含む売上高は3億1千7百万円（前年同期比20.1%減）となり、営業利益は2百万円（前年同期比89.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末に比べ以下のとおりとなりました。

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて2.8%増加し、92億4千6百万円となりました。これは、当社において1年以内に償還予定の満期保有目的の債券2億1百万円を投資有価証券から振替えたこと及び短期資金運用の設定8億円などにより、有価証券が9億9千4百万円、又、商品及び製品が1億1千6百万円それぞれ増加し、現金及び預金が5億7千6百万円減少したことなどによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて2.3%減少し、69億9千4百万円となりました。これは、投資有価証券が8千3百万円減少したことなどによるものです。

その結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べて0.5%増加し、162億4千万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて1.6%増加し、18億8千5百万円となりました。これは、短期借入金が2億1千7百万円、賞与引当金が7千7百万円それぞれ増加しましたが、電子記録債務が1億2千7百万円減少したことなどによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて1.9%増加し、13億1千1百万円となりました。これは、長期借入金が増加したことなどによるものです。

その結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて1.7%増加し、31億9千6百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて0.3%増加し、130億4千3百万円となりました。

自己資本比率は、80.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年7月10日に公表いたしました業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,350,050	2,774,048
受取手形及び売掛金	1,833,845	1,710,140
電子記録債権	655,278	549,936
有価証券	692,111	1,686,337
商品及び製品	786,215	902,900
仕掛品	509,803	496,737
原材料及び貯蔵品	1,059,661	1,020,985
その他	108,151	106,970
貸倒引当金	△1,871	△1,801
流動資産合計	8,993,247	9,246,256
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,702,418	1,686,995
機械装置及び運搬具(純額)	540,568	514,160
土地	1,355,950	1,356,425
リース資産(純額)	11,459	10,823
建設仮勘定	16,551	756
その他(純額)	148,189	145,315
有形固定資産合計	3,775,139	3,714,477
無形固定資産		
その他	136,207	128,863
無形固定資産合計	136,207	128,863
投資その他の資産		
投資有価証券	883,521	800,113
繰延税金資産	217,755	215,520
投資不動産(純額)	1,909,135	1,898,569
その他	241,024	240,052
貸倒引当金	△3,498	△3,538
投資その他の資産合計	3,247,938	3,150,717
固定資産合計	7,159,285	6,994,058
資産合計	16,152,532	16,240,314

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	474,556	405,362
電子記録債務	537,037	409,627
短期借入金	246,480	463,480
リース債務	6,393	6,482
未払法人税等	75,898	83,045
賞与引当金	6,254	83,545
役員賞与引当金	14,000	—
受注損失引当金	15,015	23,973
その他	479,783	410,091
流動負債合計	1,855,420	1,885,608
固定負債		
長期借入金	478,200	498,330
リース債務	6,179	4,524
退職給付に係る負債	702,131	710,661
その他	100,765	97,629
固定負債合計	1,287,276	1,311,145
負債合計	3,142,696	3,196,753
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,623,347	2,623,347
資本剰余金	3,092,112	3,092,112
利益剰余金	7,706,902	7,682,791
自己株式	△633,926	△633,926
株主資本合計	12,788,436	12,764,325
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	169,857	240,620
繰延ヘッジ損益	—	△459
為替換算調整勘定	26,569	13,153
退職給付に係る調整累計額	△31,467	△29,636
その他の包括利益累計額合計	164,959	223,677
非支配株主持分	56,440	55,558
純資産合計	13,009,836	13,043,561
負債純資産合計	16,152,532	16,240,314

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年6月1日 至 2020年8月31日)
売上高	2,166,180	1,826,076
売上原価	1,342,138	1,152,893
売上総利益	824,041	673,183
販売費及び一般管理費	634,917	553,347
営業利益	189,124	119,835
営業外収益		
受取利息	943	1,537
受取配当金	170	10
不動産賃貸料	31,381	30,962
持分法による投資利益	12,075	17,456
その他	8,562	13,032
営業外収益合計	53,133	62,998
営業外費用		
支払利息	656	1,375
為替差損	11,560	—
不動産賃貸費用	19,004	18,196
その他	2,587	1,267
営業外費用合計	33,808	20,840
経常利益	208,448	161,993
特別損失		
固定資産売却損	1,618	—
特別損失合計	1,618	—
税金等調整前四半期純利益	206,829	161,993
法人税、住民税及び事業税	104,471	72,568
法人税等調整額	△33,723	△28,462
法人税等合計	70,747	44,106
四半期純利益	136,082	117,886
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,625	351
親会社株主に帰属する四半期純利益	134,456	117,535

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年6月1日 至 2020年8月31日)
四半期純利益	136,082	117,886
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,668	70,763
繰延ヘッジ損益	△6,805	△459
為替換算調整勘定	△81,362	△13,724
退職給付に係る調整額	1,745	1,830
その他の包括利益合計	△84,754	58,409
四半期包括利益	51,327	176,296
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	52,735	176,253
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,408	42

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した、新型コロナウイルス感染症が当社グループに対して与える影響に関する仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2019年6月1日至2019年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 2	合計
	要素部品事業	システム製品 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,774,047	392,132	2,166,180	—	2,166,180
セグメント間の内部売上高 又は振替高	9,707	5,165	14,872	(14,872)	—
計	1,783,754	397,298	2,181,053	(14,872)	2,166,180
セグメント利益	289,124	22,803	311,927	(122,803)	189,124

(注) 1. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去△14,872千円、全社費用△107,930千円であります。なお、全社費用は各報告セグメントに配分できない管理部門等に係る費用であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2020年6月1日至2020年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 2	合計
	要素部品事業	システム製品 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,517,525	308,550	1,826,076	—	1,826,076
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,811	8,726	11,537	(11,537)	—
計	1,520,337	317,276	1,837,613	(11,537)	1,826,076
セグメント利益	238,777	2,463	241,240	(121,404)	119,835

(注) 1. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去△11,537千円、全社費用△109,867千円であります。なお、全社費用は各報告セグメントに配分できない管理部門等に係る費用であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。